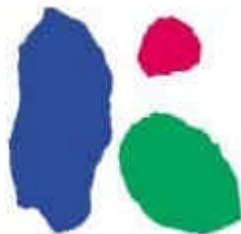


平成18年度決算の概要 (2007年3月期)



株式会社 高知銀行



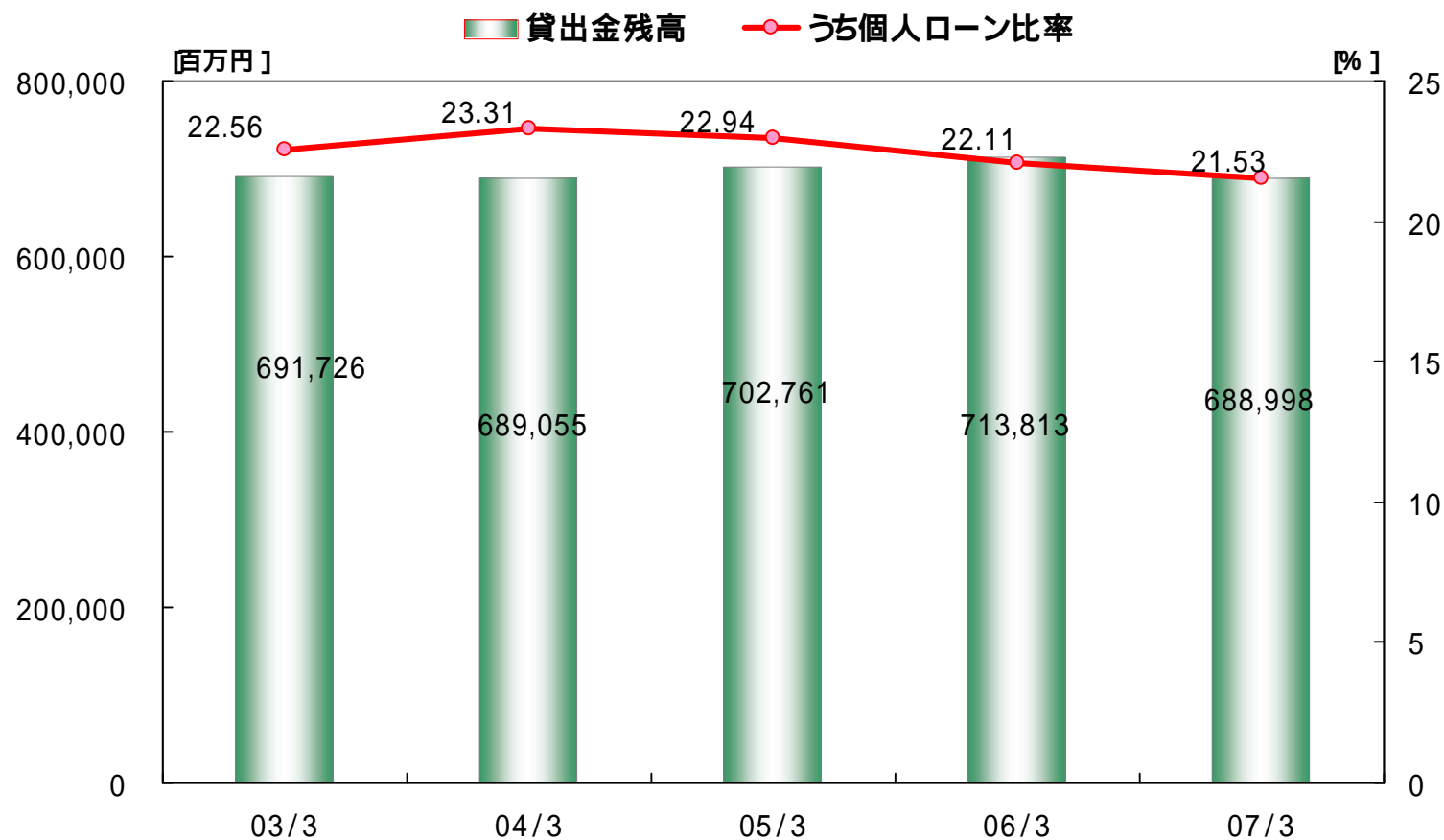
目次

1.貸出金	1	4.不良債権への取組み	9
2.預金 預り資産	3	5.自己資本比率	10
3.損益状況	5	6.経営改善支援への取組み	11
業務粗利益			
経費			
コア業務純益		中期経営計画	12
利鞘			

1.貸出金

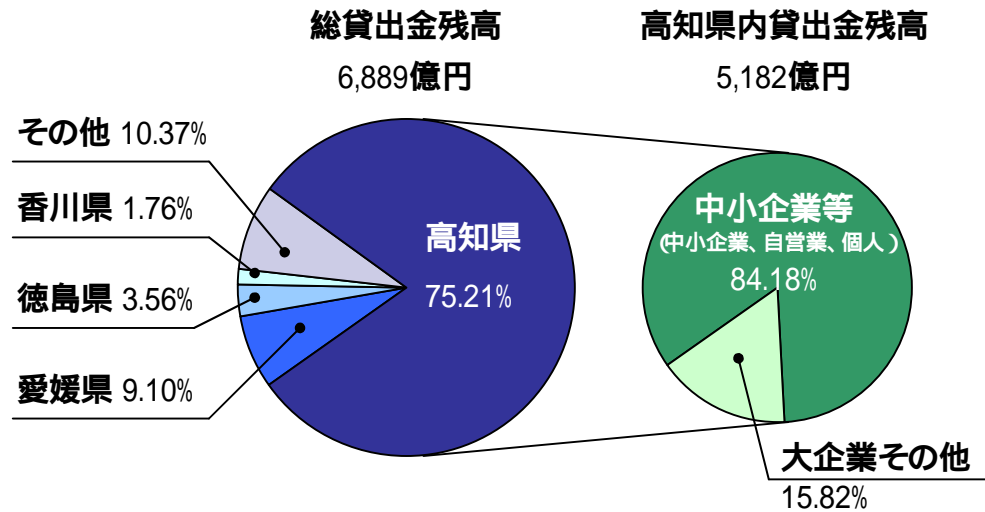
貸出金

地域の中小企業を中心とする事業資金の需要にお応えするとともに、個人融資にも前向きに取り組みましたが、高知県内の資金需要が弱かったこともあり、貸出金残高は前年同期末比248億円減少して6,889億円となりました。

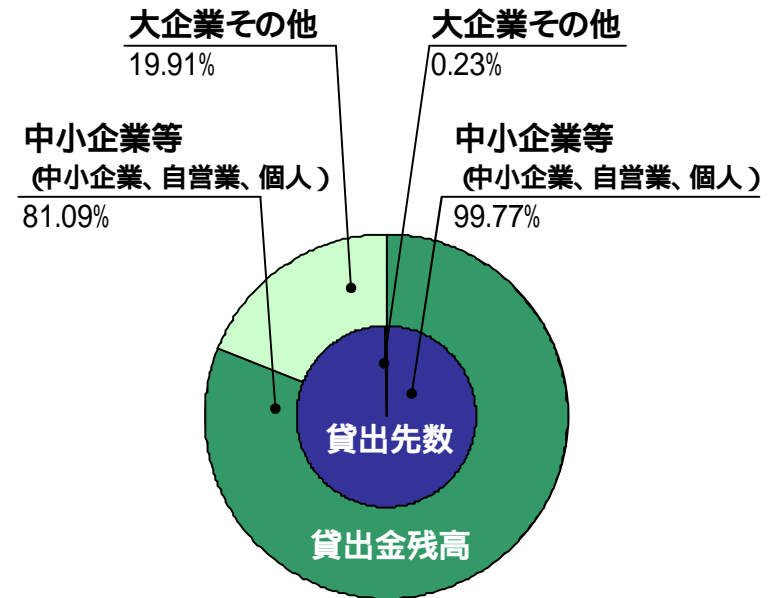


平成19年3月末の高知県内向け貸出金は5,182億円で、当行の貸出金全体の75.21%を占め、また、当行の貸出金の81.09%は中小企業や個人のお客さまへのご融資となっております。

総貸出金残高に占める地元貸出金
(2007年3月末)



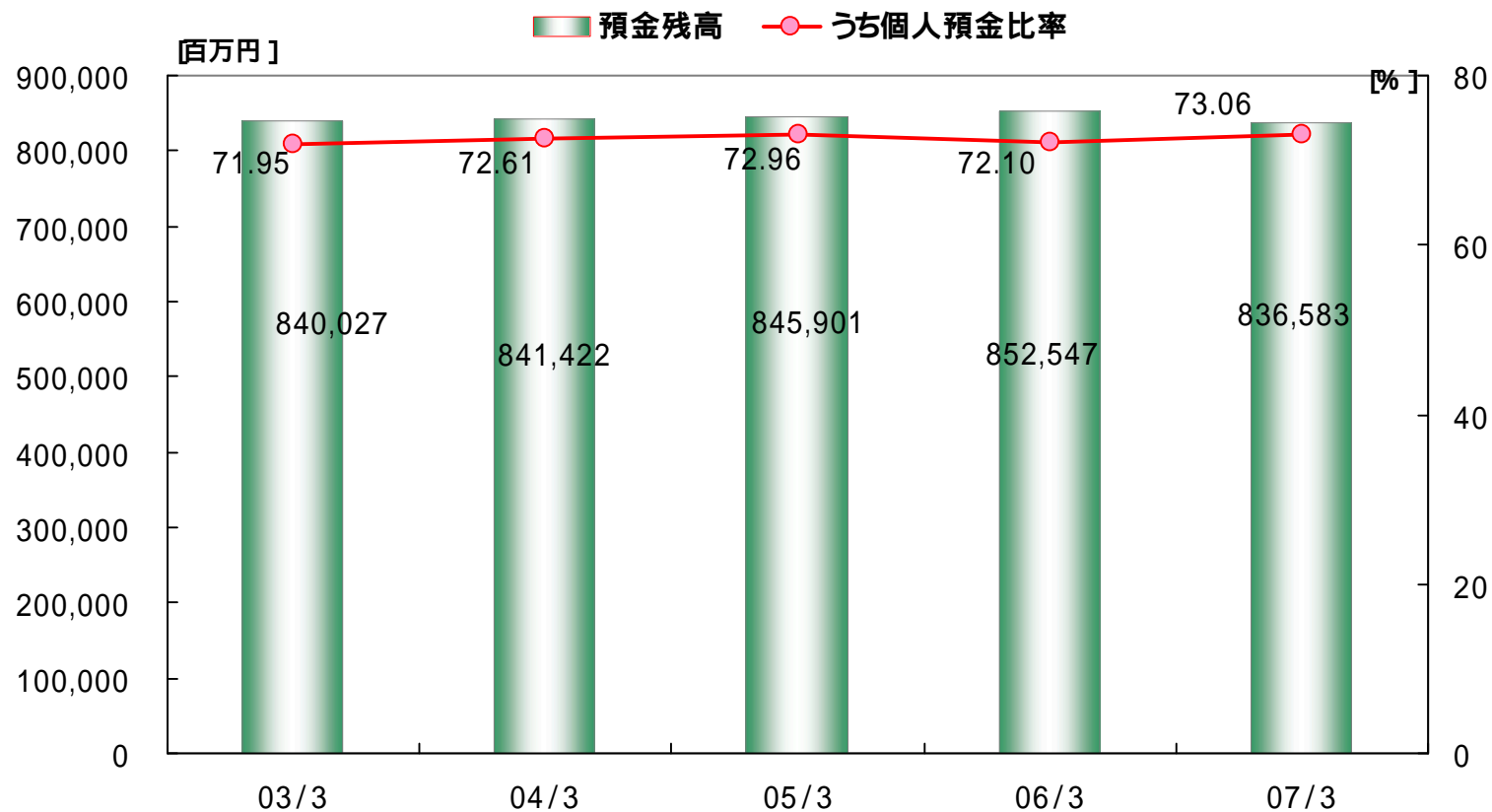
中小企業等に対する貸出金の割合
(2007年3月末)



2.預金・預り資産

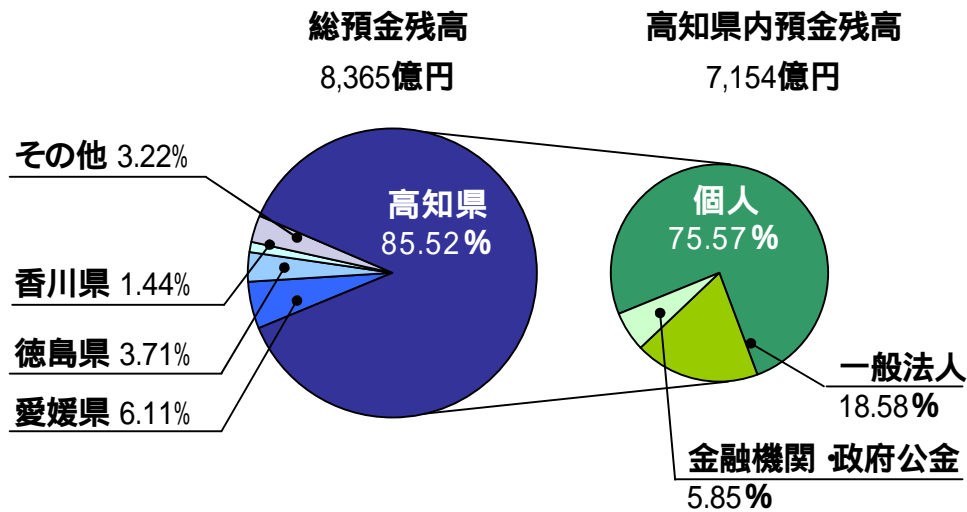
預金

地域に密着した営業活動を展開し、平成19年3月末の預金残高は8,365億円となりました。



総預金残高に占める地元預金 (2007年3月末)

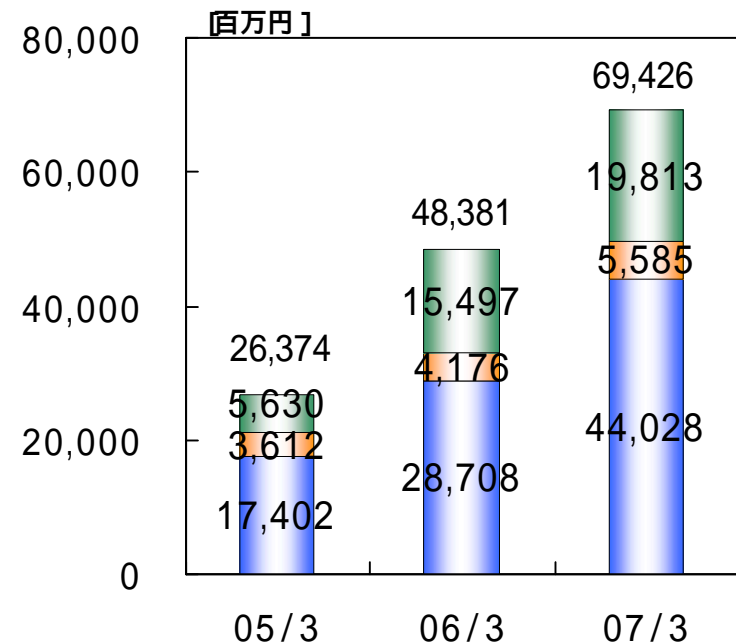
平成19年3月末の高知県内の預金は7,154億円で、当行全体の85.52%を占めております。



預り資産の推移

預り資産の合計は前年同期末比210億円増加して、694億円となりました。

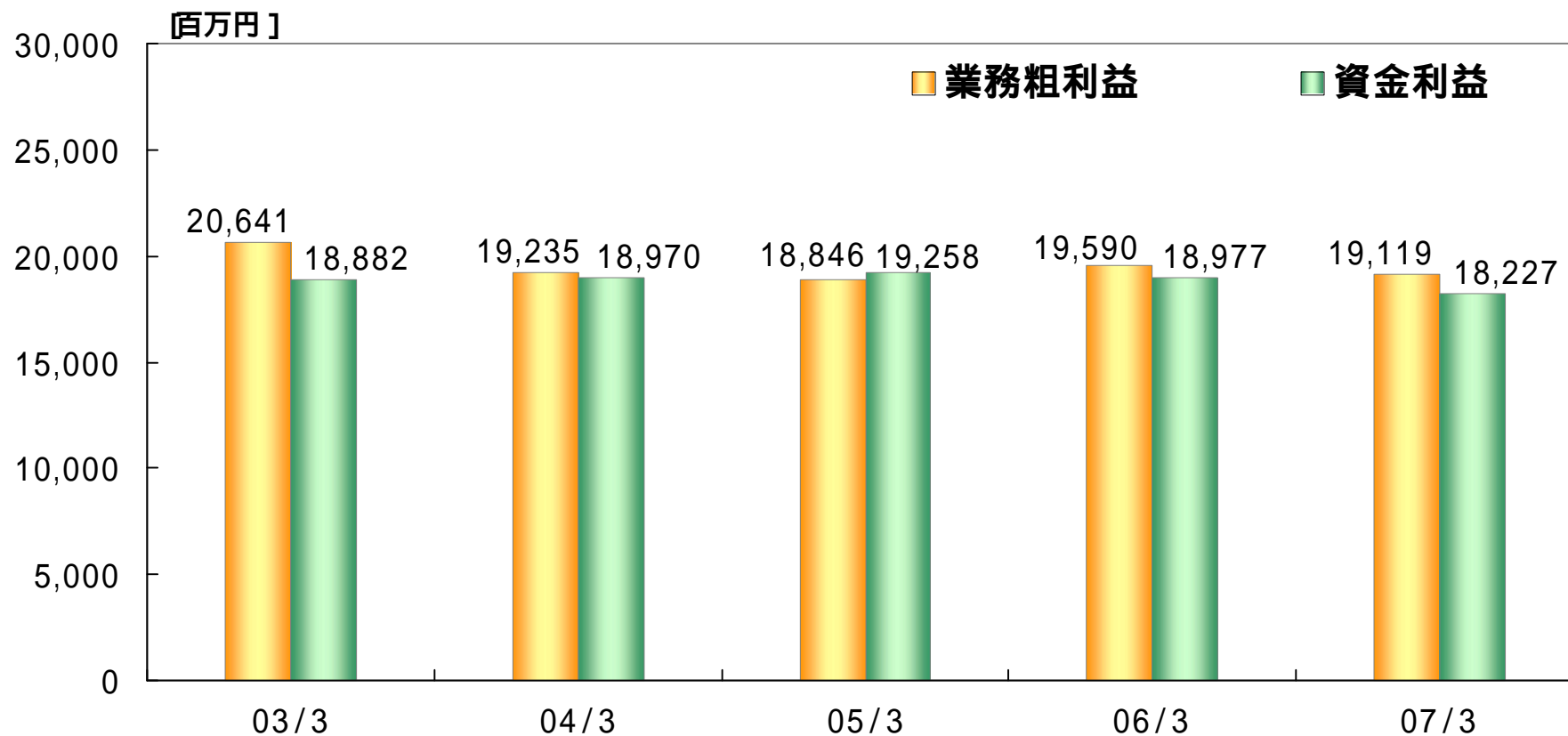
■ 投資信託 ■ 生保窓販 (販売累計額) ■ 国債



3. 損益状況

業務粗利益

資金利益は182億27百万円、役務取引等利益は3億90百万円、その他業務利益は5億1百万円で、業務粗利益は191億19百万円となりました。

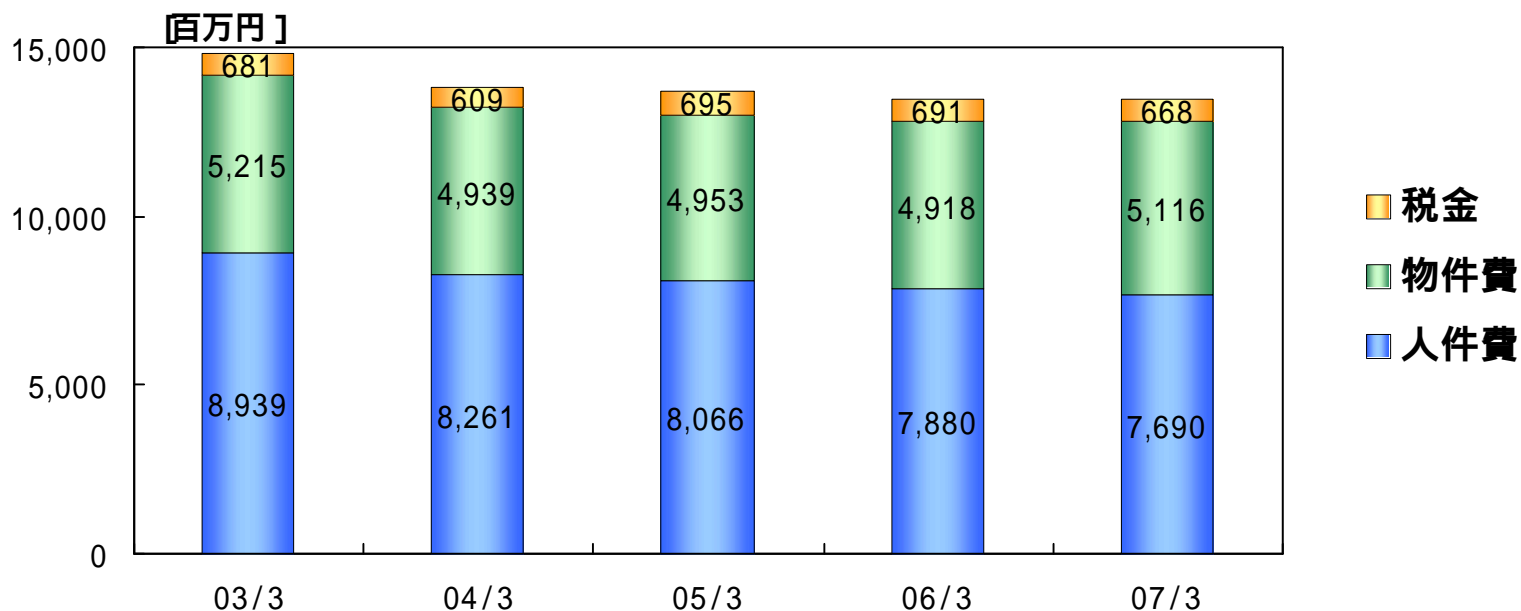


経費

平成19年3月期の経費合計は前期より14百万円減少し、134億76百万円となりました。

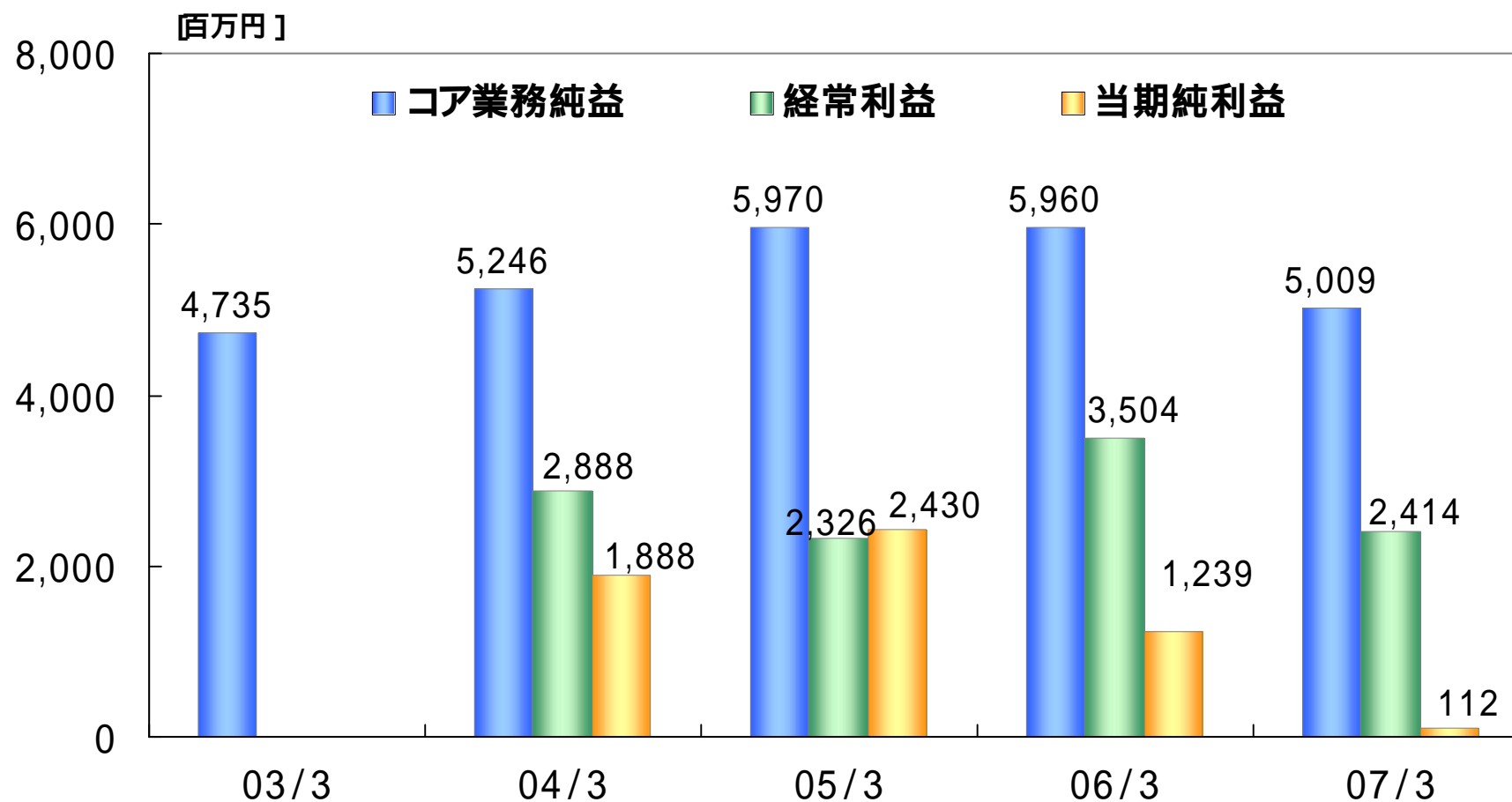
	人件費	物件費	税金	経費合計
03 (平成15)年3月期	8,939	5,215	681	14,836
04 (平成16)年3月期	8,261	4,939	609	13,811
05 (平成17)年3月期	8,066	4,953	695	13,715
06 (平成18)年3月期	7,880	4,918	691	13,490
07 (平成19)年3月期	7,690	5,116	668	13,476

単位：百万円



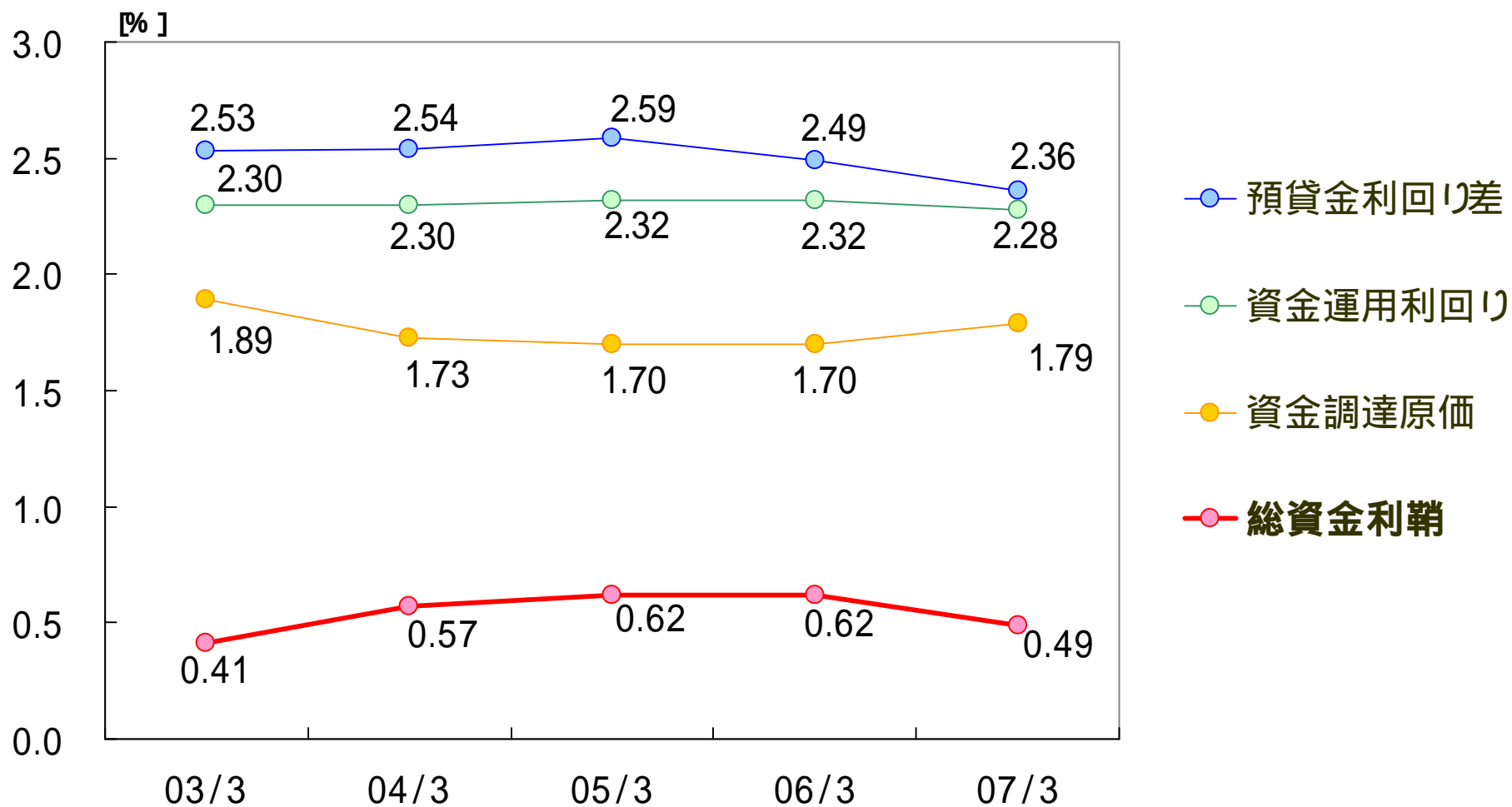
コア業務純益

銀行の本業での業績を表す指標といわれるコア業務純益は50億9百万円となりました。
経常利益は24億14百万円、当期純利益は1億12百万円となりました。



利 鞘

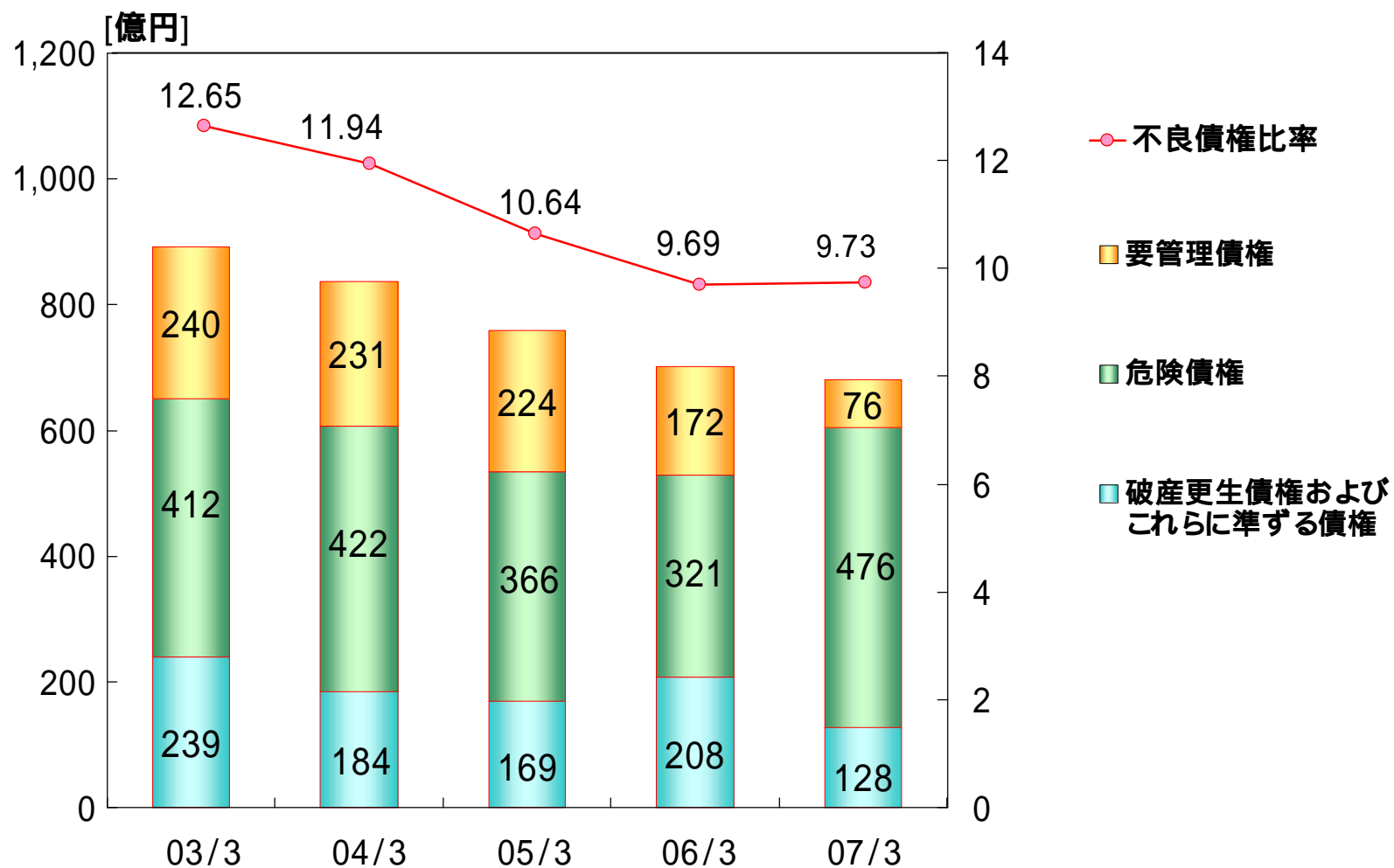
預金利回りが上昇し、預貸金利回り差は2.367%となりました。



4.不良債権への取組み

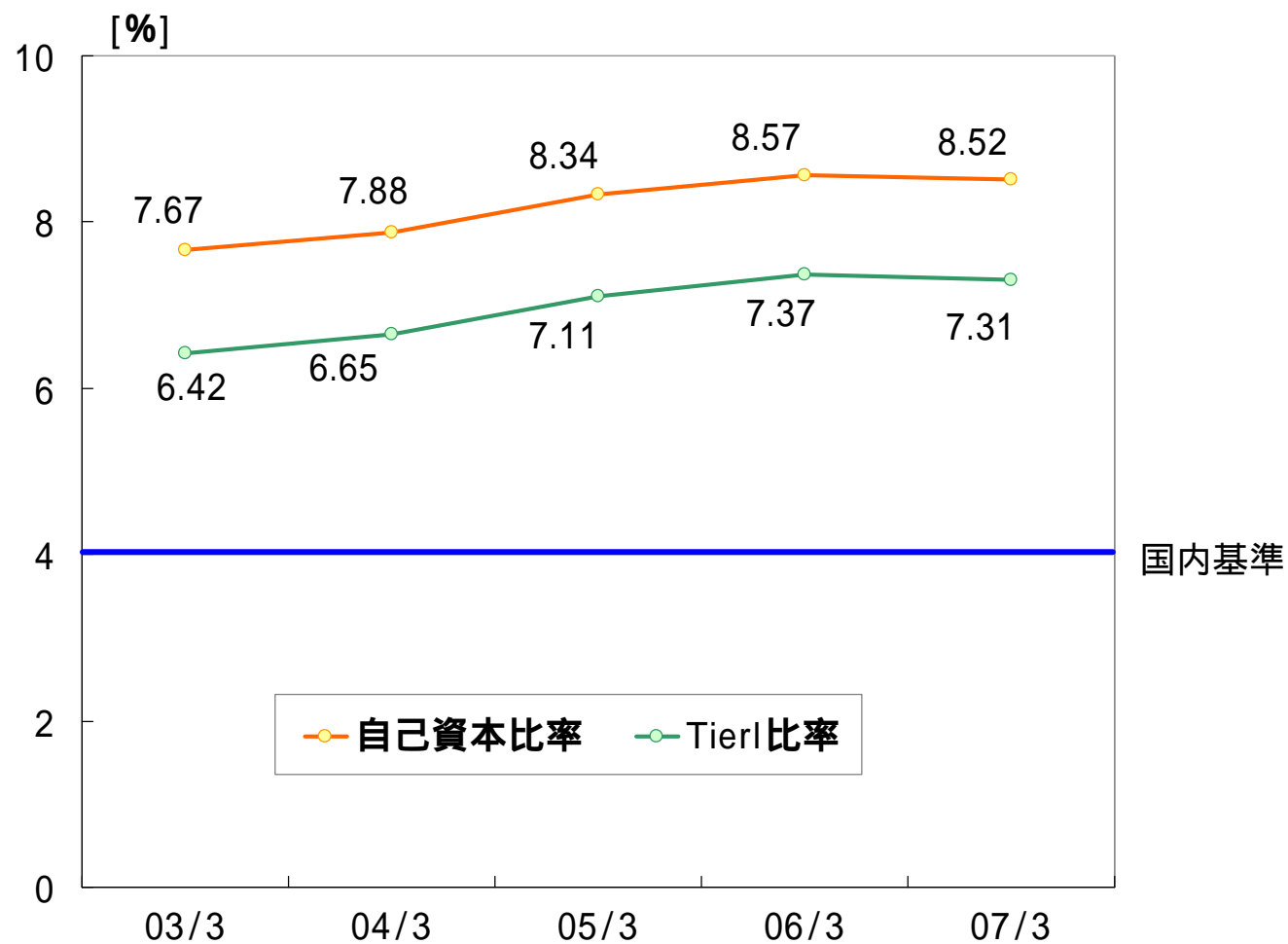
金融再生法開示基準に基づく債権

金融再生法開示基準に基づく不良債権の合計は680億12百万円で、不良債権比率は9.73%となりました。



5.自己資本比率

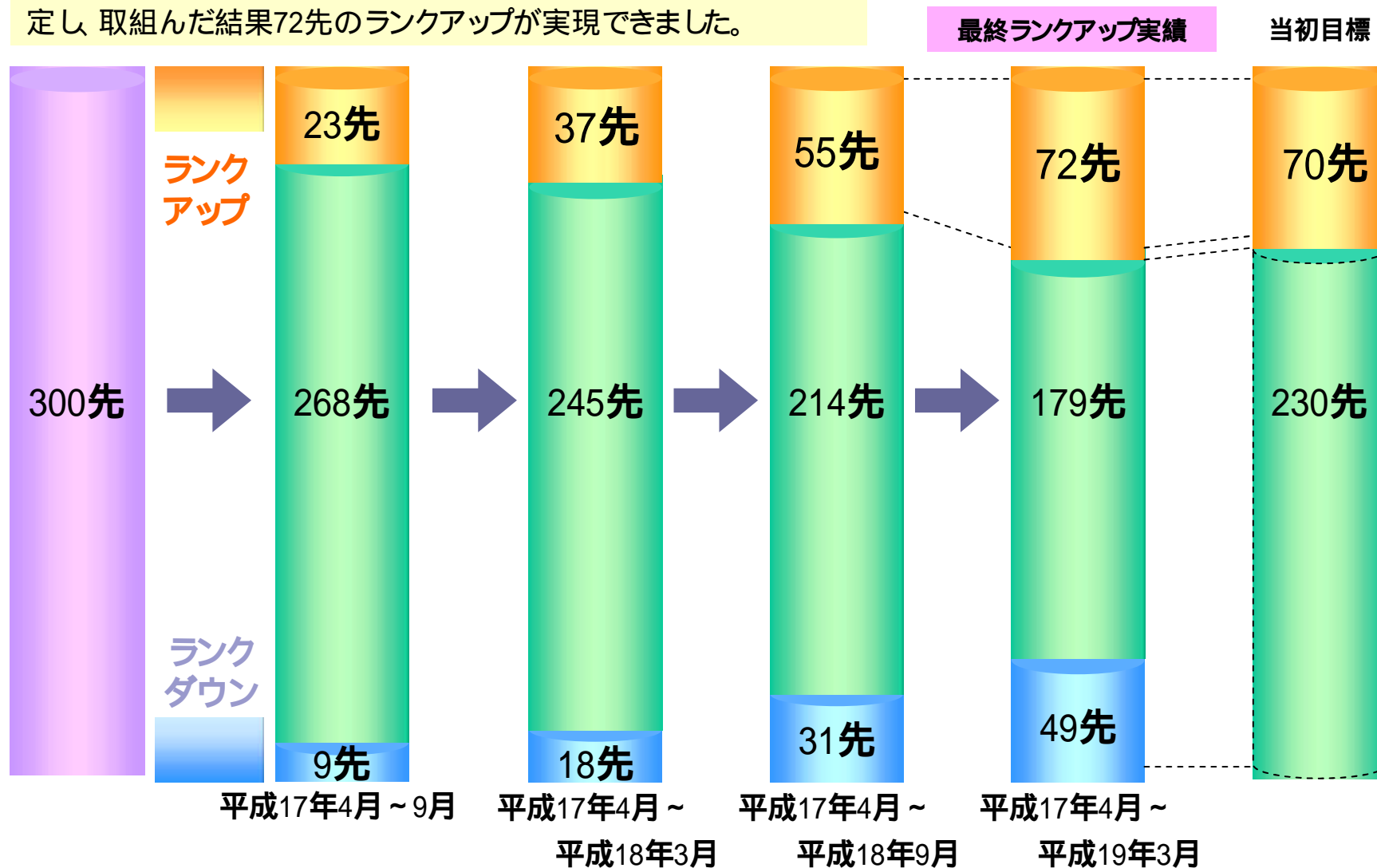
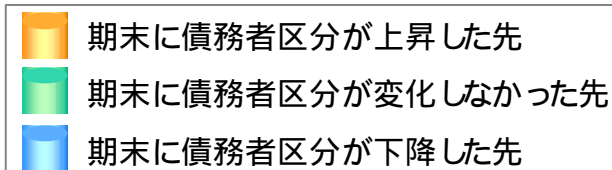
自己資本比率は8.52%、資本金・剰余金など本来の自己資本のみで算出した自己資本比率であるTier 1比率は7.31%となりました。



6. 経営改善支援への取組み

2005年4月～2007年3月の実績

平成17年4月から平成19年3月までのランクアップ目標を70先に設定し、取組んだ結果72先のランクアップが実現できました。



中期経営計画 「こうぎん維新」 ～新たなステージへ～ あしたを元気に！ ビビッドバンク

(計画期間 平成18年4月～平成23年3月)

平成18年3月1日の株式上場を踏まえ、平成18年4月から「高知銀行の新しい時代」、向こう5年間を「高知銀行の維新の時代」と位置付け、当初2年を第一次計画期間、3年目以降を第二次計画期間として、前計画「チャレンジ31」により取り組んできた「3つの革新」と「1つの改革」をさらに推し進め、ステークホルダーとの揺るぎない信頼関係の構築を実現いたします。

■ 経営目標 当行の目指す銀行像

地域密着型リテールバンクとしてのバリューアップに向けて

- ◆ お客さまにとって……役に立ち信頼される銀行
- ◆ 株主にとって……格付け評価が高く信認の厚い銀行
- ◆ 地域社会にとって……使命を果たし発展に貢献する銀行
- ◆ 職員にとって……魅力的で夢と希望を実現できる銀行

■ 経営基本方針と重点戦略

「収益力の強化」と「不良債権比率の改善」という経営課題に取り組むため、3つの基本方針と5つの重点戦略を定め、これまで取り組んできた革新と改革をさらに推し進める。

経営基本方針

- ◆ 「高収益構造への転換」…経営の効率化と資産の健全化を進め高収益構造への転換を実現する。
- ◆ 「経営力の強化」……リスク管理と内部統制態勢の高度化を進め経営力を強化する。
- ◆ 「地域貢献力の向上」……地域金融機関としての社会的責任を果たすため地域貢献力を高める。

目標とする経営指標

- ◆ 第一次計画期間終了時(平成20年3月期)の数値目標

当期純利益	12億円以上
単体自己資本比率	8.6%以上
不良債権比率	8.6%以下

当初計画の見直しを行っております。

重点戦略

- ◆ 「運用力の強化」
- ◆ 「金融サービス力の強化・CSの向上」
- ◆ 「リスク管理態勢の高度化・内部統制強化への取り組み」
- ◆ 「地域活性化のための各種施策との連携等」
- ◆ 「人材力の強化・ESの向上」



お問い合わせ先

株式会社高知銀行 経営統括部

TEL 088-822-9311 FAX 088-871-7121

URL <http://www.kochi-bank.co.jp/>

E - mail kouhou@kochi-bank.co.jp

本資料には、当社グループの将来の業績、経営目標などに関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。